

3. 沖縄ブロックにおける重点事項

(1) 『自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり』

県内及び国内外との連携を強化し、産業経済の振興や交流を支える「陸・海・空」の総合交通体系の整備を進めるとともに、企業の立地を支援するための関連社会資本の整備を進める。

また、質の高い観光・リゾート地の形成に向け、主要観光地などへのアクセス道路、海洋性リゾート拠点、クルーズ船に対応した港湾施設、自然と文化財を生かした公園などの整備を進める。

幹線道路網の整備やIT技術の活用などにより、道路交通の円滑化を図ります。

空港や港湾などの整備により、人や物の広域的な移動・交流の拡大、効率化を図ります。

国内外企業の立地を支援し、地域や経済の活性化を図ります。

質の高い観光・リゾート地を形成し、入域観光客数の増加を図ります。

(2) 『安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり』

人口の増加や生活水準の向上、経済の発展などに伴い、今後とも増加が見込まれる水需要に対応するため、安定した水資源の確保やその有効利用を進める。

また、自然災害や事故及びテロから住民の生命と財産を守るため、浸水対策、高潮対策、津波対策、土砂災害対策、渇水対策及び交通に関する安全対策などを進める。

安定した水資源の確保により、渇水被害を軽減します。

自然災害に対する安全性を確保するとともに、被害を最小限に抑えます。

陸・海・空の交通に関する安全性を確保し、事故やテロの未然防止と被害軽減を図ります。

(3) 『 沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出 』

河川、海域の良好な水質の保全を図るとともに、河川や沿岸域及び森林地域などの豊かな自然環境や地域環境の保全・再生・創出を進める。

また、廃棄物のリサイクル、廃棄物処分場、静脈物流関連施設の整備、公共交通機関の利用促進など環境負荷の低減に向けた取り組みを進める。

発生源対策等を進め、河川・海域の水質保全を図ります。

沖縄特有の豊かな自然環境や地域環境を保全・再生・創出します。

建設副産物の有効活用を図るため情報連絡体制の一層の活用による建設発生土の有効利用及びリサイクル資源の効率的な輸送体系等の構築等により、廃棄物の循環再利用を促進します。

④公共交通機関の利便性を向上させるなど、快適な交通社会を実現します。

(4) 『 特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり 』

沖縄特有の風土や文化を生かし、快適で住みよい地域づくりを支援するため、既成市街地の改善や生活基盤などの整備を進めるとともに、ユニバーサルデザインを促進する。

また、離島における定住は国土の保全にも繋がることから、暮らしやすい環境づくりを進める。

さらに、事業の実施及び施設の管理にあたっては、コスト構造改革や住民参加を積極的に進める。

既成市街地での都市機能の更新、中心市街地の再構築により地域の活性化を図ります。

ユニバーサルデザインに基づく地域づくりを進め、高齢者や身障者への配慮を目指します。

離島における交通基盤、生活環境基盤の整備により、定住環境の確保を図ります。

住民参加による地域づくりや公共施設の整備管理を進めます。

公共事業に関してコスト縮減を図りながら事業を進めます。